

～雨が降ったら 夏のキノコ狩りに出かけよう～

相生山の四季を歩く会 #164

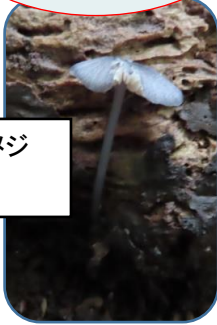


2023.6.11

色々なキノコ
見つけよう！



キイボカサタケ
(黄疣傘茸)



ヒメコンイロイッポンシメジ
(姫紺色一本占地)



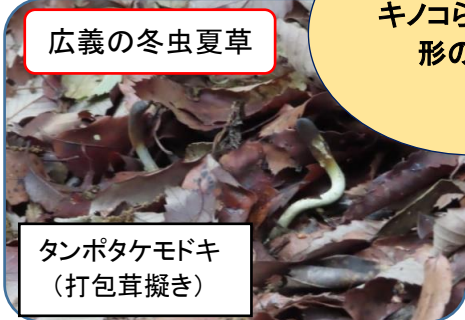
ヒロタケ
(緋色茸)



コムラサキシメジ
(小紫占地)



ベニタケ(紅茸) sp.



広義の冬虫夏草

キノコらしくない
形のキノコ



マンジュウドロホコリ
(饅頭泥埃)



観察のためのキノコ狩り 注意すること

- ①生えている状態で観察
...写真撮るなら、いろんなアングルから。
- ②根元も大事...どこから出てる？土か木か。
- ③色、分泌物、匂いを確かめる。
- ④周りも見ろ...どんな地形？植生は？

キノコの
ココを
見よう!!!

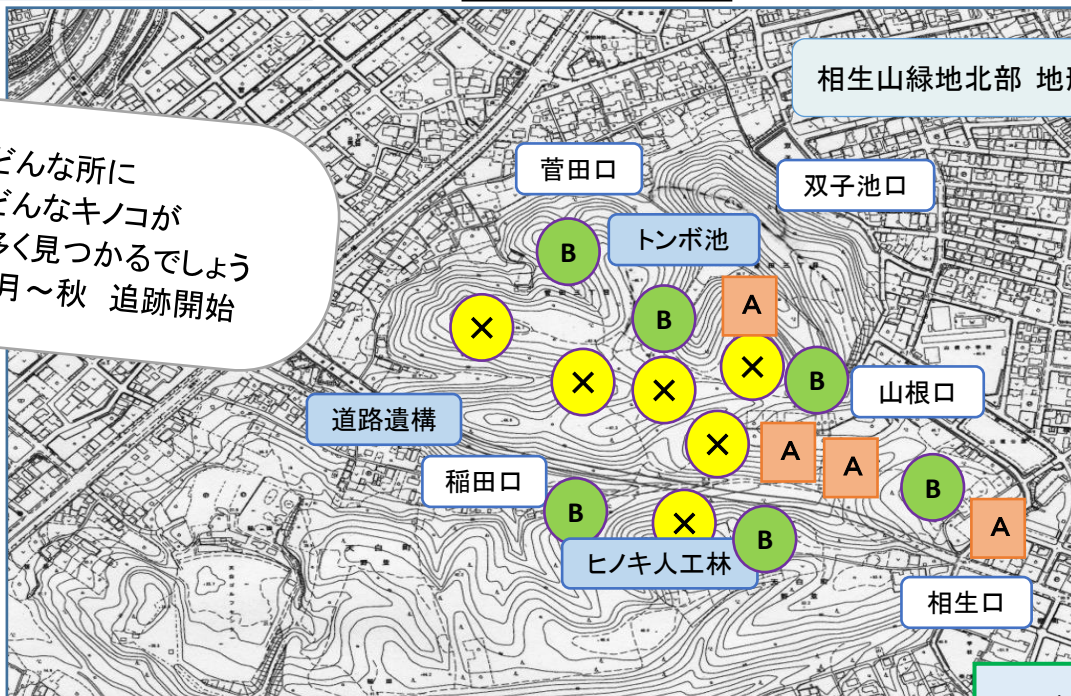


カサ(傘) 表,裏
ヒダ(鬚),線

ツバ
(鐙)

タマシロオニタケ
(玉白鬼茸)

ツボ
(壺)



相生山緑地北部 地形・土地利用図

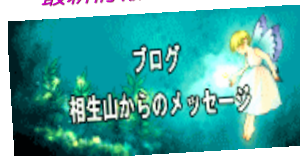
どんな所に
どんなキノコが
多く見つかるでしょう
6月～秋 追跡開始



昆虫・キノコ・樹木

元気な生きものたち に大接近

自然と人間
人びとの思い
最新情報と予習復習に



連絡先(古川)

tell/fax : 052-821-6463

ケイタイ : 080-5124-6463

e-mail : viva_forest@yahoo.co.jp

https://lovelyearth.info/

検索: 相生山の四季を歩く会

引用参照：矢作川流域森林物語/豊田市
くらべてわかるきのこ/山と溪谷社

森の分解者 キノコたち

キノコの役割

キノコは葉緑体を持たないため、動植物の遺体、生体や排泄物から養分を吸収して生活しています。特に、樹木などとの共生や遺体を分解する腐生生活をする種類が多く、食物連鎖の中では、分解者（還元者）として非常に大きな役割を担っています。

枯れ木や落ち葉を分解するキノコ

分解者としてのキノコは、シイタケ・ヒラタケなどの枯れた樹木を分解する木材腐朽菌と、アマタケ・タマゴタケなどの落ち葉を分解する菌根性の系統（菌根菌）があります。

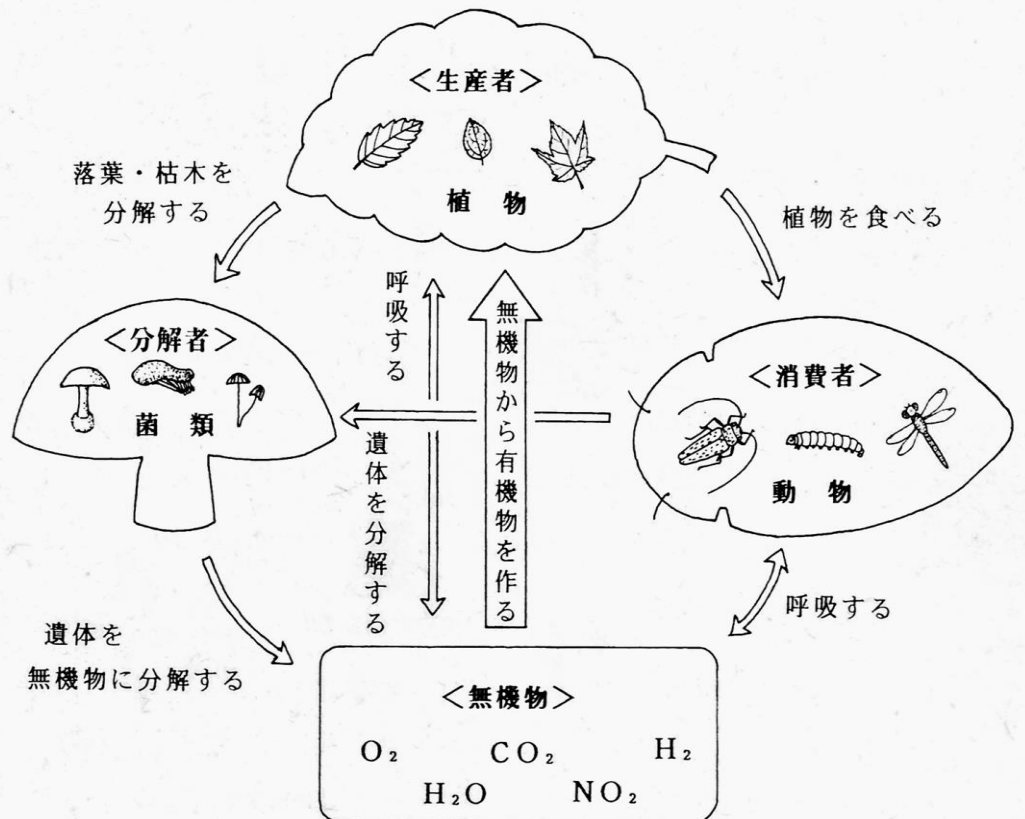
林床の落ち葉を上から順にめくっていくと、変色して腐りかけた落ち葉が白い菌糸でつながっているのが見つかります。これは落ち葉を分解するキノコの菌糸で、時期がくれば子実体であるキノコが発生します。時に、こうした菌糸が放射状に成長してキノコが同心円状に発生することがあり、これを菌輪（きんりん）※と呼びます。 ※別称：フェアリーリング（妖精の輪）

キノコは生物学上は菌類に属し、カビと同じ仲間です。菌糸が大きくなって子実体（しじつたい）を作って胞子を飛ばすのが、キノコです。

食物連鎖（フードチェーン）模式図



〈食物連鎖の中でのきのこの役割〉



食べられるキノコ、毒キノコ

昔から「茸は食べたし、されど茸は恐し」と言いますが、毎年、毒キノコによる食中毒が発生し、時に死亡事故も聞かれます。重要なことは、絶対確実な種類以外は食べないこと、症状が現れたら食べ残しのキノコを持ってすぐに病院へ行くことです。

一方、食用キノコも数多くあります。中でも、クリタケ・ブナハリタケ・ムキタケなど木材腐朽菌には優れた食菌が多く、キノコ入門として適していると思われます。しかし、今まで食菌として知られていなかったスギヒラタケが近年中毒を起こすなど、まだまだ不明な点がいろいろあります。